2008 年度 自動車リサイクル法に基づく再資源化等の実施状況

1. 対象期間

2008年4月1日 ~ 2009年3月31日

2. 法定基準の遵守状況

		ASR ※1	エアバッグ類	
再資源化率 ※2	基準	30%以上(2005年度~2009年度) 50%以上(2010年度~2014年度) 70%以上(2015年度~)	85%以上	
	実績	77. 7%	94. 4%	

3. 再資源化等の状況

	ASR		エアバッグ類		フロン類 ※3	
引取台数	指定引取場所での 引取台数 ※4	192, 199 台	取外回収台数	13, 262 台	CFC 引取台数	25, 234 台
			車上作動台数	46,841 台		
	委託全部利用投入 解体自動車台数 ※5	13, 849 台	一部取外回収/	184 台		129, 195 台
	숌 計	206, 048 台	合 計	60, 287 台	合 計	154, 429 台
引取量	ASR 引取重量①	29, 308. 9 t	取外回収個数	18, 038 個	CFC 引取重量	6, 592. 5kg
	委託全部利用引渡 ASR 相当重量②	2, 231. 8 t	車上作動個数	96, 074 個	HFC 引取重量	40, 377. 0kg
	슴 計	31, 540. 7 t	合 計	114, 112 個	合 計	46, 969. 5kg
再資源化重量	再資源化施設 ※6 ASR 投入重量 ③	25, 058. 3 t	再資源化施設引取重量⑦	12, 358. 5 kg		
	再資源化施設 ASR 排出残さ重量④	2, 754. 8 t				
	委託全部利用投入 ASR 相当重量⑤	2, 231. 8 t	本次海ル舌星の	11, 666. 6 kg		
	委託全部利用 排出残さ重量⑥	36. 5 t	- 再資源化重量⑧			

4. 再資源化等に要した費用の収支状況

	ASR	エアバッグ類	フロン類	合 計
払渡しを受けた預託金の額	1, 176, 021, 202 円	109, 581, 816 円	331, 117, 386 円	1, 616, 720, 404 円
再資源化等に要した費用	1, 152, 927, 647 円	106, 956, 965 円	324, 936, 039 円	1, 584, 820, 651 円
収支	+23, 093, 555 円	+2,624,851円	+6, 181, 347 円	+31,899,753円

[注記]

- ※1. ASR (=Automobile Shredder Residue) とは、 使用済自動車から有用資源を回収した後に 残る破砕残さ。
- ※2. 再資源化率

- ※3. CFC (=特定フロン CFC12)・HFC (=代替フロン HFC134a) はともにカーエアコン用冷媒。富士重工業は 1994 年までに CFC からオゾン層に害のない HFC に切替えを完了したが、HFC も地球温暖化には影響があるとされており、自動車リサイクル法に基づく引取・破壊を実施している。
- ※4. 指定引取場所とは、主務大臣の認定を受けて定めた引取場所のこと。
- ※5. 主務大臣の認定を取得した全部再資源化業務委託先(解体事業者、プレス・せん断処理業者) が国内の電炉・転炉等に引渡しを行う場合に、その引渡先は委託全部利用となる。
- ※6. 再資源化施設とは、主務大臣の認定を取得した指定引取場所のうち、基準に適合した施設を示す。